

図書館だより

2013 7月

今月の行事

- ◆ 芭蕉と一茶 9日(火) 午前9時30分～ 2階 講習室にて
- ◇ おはなしの会 毎週土曜日 午前11時～ えほんコーナーにて

蔵書整理にご協力いただきありがとうございました!

おかげさまで、今年度も無事作業を終えることができました。
ご利用の皆様にはご不便をおかけして申し訳ありませんでした。
また、たくさんの皆様のご利用をお待ちしております。



岐路に 立つ日本

第15回記念信州岩波講座 2013

8月11日(日曜日)

講師:孫崎亨氏

9月8日(日曜日)

講師:落合恵子氏

9月21日(土曜日) 講師:山田洋次氏

10月26日(土曜日) 講師:大江健三郎氏

会場は須坂市メセナホールです。

100周年

伊藤左千夫
新美南吉

今から100年前の1913年7月30日は、
伊藤左千夫が亡くなり、新美南吉が生まれた日です。
記念すべき100年目の今年、改めて作品を読んでみませんか

なつやすみこどものつどい

とき:8月3日(土曜日) 午前10時30分～

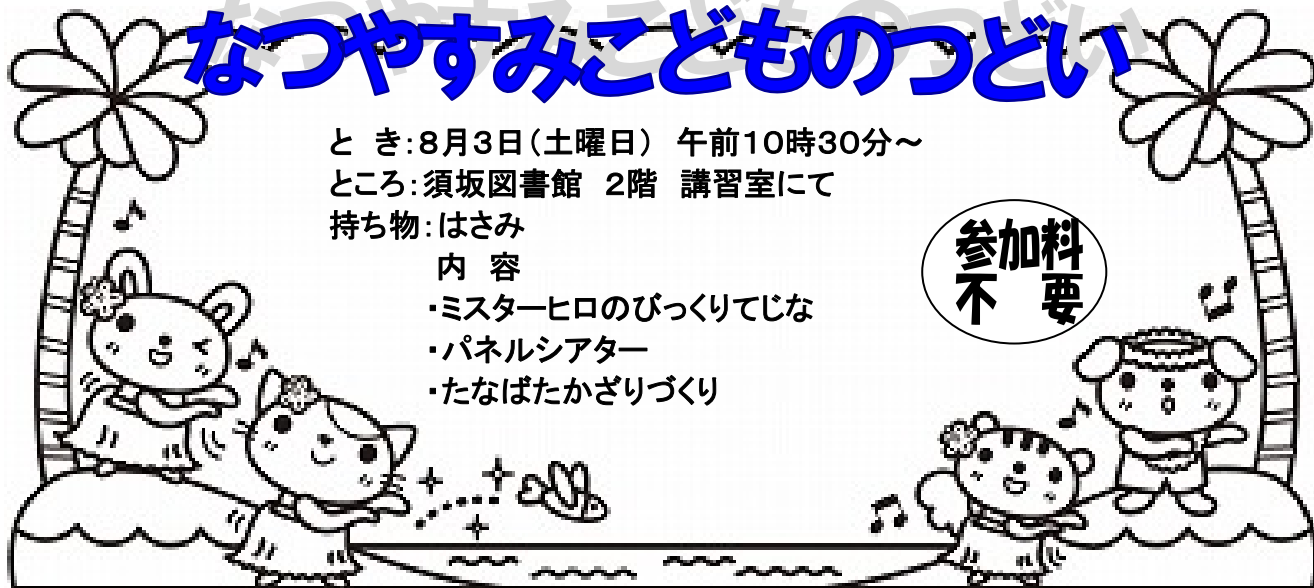
ところ:須坂図書館 2階 講習室にて

持ち物:はさみ

内容

- ・ミスターヒロのびっくりてじな
- ・パネルシアター
- ・たなばたかざりづくり

参加料
不要



一般向け新刊案内7月

小説

<p>正義をふりかざす君へ [真保裕一] 別れた妻の願いで故郷に戻った元新聞記者。彼を待っていたのは、悪意ある人々と7年前の死亡事件だった…。「正義」の意味を問いただす長篇ミステリー。(徳間書店)</p>	<p>月下上海 [山口恵以子] スキャンダルを逆手にとり人気画家にのし上がった財閥令嬢・八島多江子は、戦時統制化の日本を離れ、上海に渡った。謀略渦巻く上海で、多江子が出会う4人の男たち。運命の歯車が回り始める。(文藝春秋)</p>	
<p>流水浮木 [青山文平] 老いてなお、命を懸けねばならぬ時がある。裏の隠密御用、大金を手にとり殺された友、危険な火縄の匂い。一刀流の極意を身に秘めた武士が江戸の間に鯉口を切る！懸命にもがき生きる人々を描く。(新潮社)</p>	<p>拝啓17歳の私 [蓮見恭子] 空手部の選抜大会出場を応援する校内ポスターが破られた。掲載された主将・結城の写真を狙っての犯行だったが、目撃者の証言では犯人は結城本人だという。身に覚えのない結城は。(角川春樹事務所)</p>	
《書名》	《著者名》	《出版社》
殺生伝	神 永 学	幻 冬 舎
鯖猫長屋ふしぎ草子	田 牧 大 和	PHP 研究所
ぬいぐるみ警部の帰還	西 澤 保 彦	東京創元社
教場	長 岡 弘 樹	小 学 館
考えすぎた人 お笑い哲学者列伝	清 水 義 範	新 潮 社

その他

《書名》	《著者名》	《ジャンル》
国家はなぜ衰退するのか 上下	ダロン・アセモグール共著	経 済
お花をきれいに長く楽しむ本	日本華道社編集部	華 道
皇室ゆかりの逸品<<厳選47>>	鮫 島 敦	産 業
負の世界遺産	洋 泉 社	世界 遺産
「人生案内」孫は来てよし、帰ってよし	大 日 向 雅 美	社 会

コミックエッセイでほっこり

<p>ぐうたら山暮らし [松井雪子] 自然のオキテにほんろうされてばかりでも「生きてる！」って感じがする。すぐにくじける都会の漫画家が、ゆかいな山生活を描きます。(イースト・プレス)</p>	<p>季節七十二で候 [太田垣晴子] 東風解凍、玄鳥至、菖蒲華、熊蟄穴…。五日ごとの季節を表現した七十二候に根ざした心地よい生活をイラストで綴る季節を味わえる1冊。(メディアファクトリー)</p>
--	---

* 予約多数の場合、お時間がかかりますのでご了承ください。

貸出し中の場合は予約ができません